

もっと笑顔で、暮らせる明日へ。

aito

7

Jul 2025

No.364



習字でオリジナル感を!



私は、小学生の頃に習字教室に通い、自宅で祖母から教えてもらっていました。その後、習字から離れていましたが、20年ほど前に町民講座にペン習字があったことから再開し、現在は岡部陽子さんが主宰する「楽書」教室に月1回のペースで通っています。手本を参考に、先生の助言指導を受けながら半紙に下書きをして、色紙に正書を行い、作品に仕上げています。

書き溜めた作品の中から「みかわ秋まつり」に出品しています。また、我が家で栽培したお米から作られた日本酒のラベルや米の袋、自分の名刺にも先生にアドバイスをもらいながら、自分が書いた習字を取り入れています。

これからも先生のもとで、「楽書」を自分のペースで書き続けていきたいと思っています。

三川支所管内 ^{すがわら}菅原 ^{そういち}壮一さん(43)



夢に向かって頑張っている!!

羽黒支所管内 ^{おびと}小林 ^{りゅうと}櫻人くん(11) ^{まさと}龍人くん(9) ^{まこと}聖人くん(9)

マイペースな櫻人くんはラーメンやお寿司が大好き。将来はNBAの選手になって活躍するのが夢です! しっかり者の龍人くんはバスケが大好き。将来はバスケットボール日本代表選手になってオリンピックに出場するのが夢です!

食いしん坊の聖人くんはメロンが大好き。将来はYouTuberになってバスケットボールやゲームの配信をするのが夢です!



🔥バスケットボールに熱中🔥



お揃いのTシャツでポーズ



あいと
キッズ

ファミリーファーム

FAMILY FARM

受け継いだ田んぼを守っていく

北部支所(立川地域)管内
^{いしかわ}いしかわ ^{ひさし}ひさし ^{たかひろ}たかひろ
石川 久さん(75)・貴洋さん(44)

(貴洋さん) 私は、以前から農業の手伝いはしてきましたが、昨年の職場の退職を機に、今年から本格的に就農しました。現在は、水稻をメインに転作の大豆とソバを、今年から赤カブもはじめ、約18㍓を父と二人で栽培しています。

就農したばかりで、覚えることがとても多く、慣れるまで大変だと感じていますが、自分で休みを決め、仕事のオンオフをはっきりさせられる点では魅力を感じています。また、今栽培している田んぼをこれからも守っていきたいという思いが強く、日々勉強し、父からも教わりながら農業の知識を深めています。

今後は、スマート農業に挑戦したいと考えています。作業の簡略化や効率化を図り、試行錯誤しながら、農業経営を長く安定して継続できるよう取り組んでいきたいです。



庄農生トライ

SHONOSEITRY

伝統野菜「宝谷かぶ」を守り未来へつなぐ



食料生産科3年 ^{はたけやま}畑山 ^{ともゆき}知之さん

私の住む宝谷地区は月山の麓に位置し、常に山からの綺麗な水が流れ込みます。標高は250mと高く地形や気候を利用した農業を展開しており、私の家では米や花の他に、宝谷かぶ、宝谷そばのでわ宝などを栽培しています。宝谷かぶとは宝谷地区に伝わる伝統野菜で直径4~5cm、長さ20~25cm程度の青首の長カブ、根の中ほどで少し折れ曲がっており、加熱するとトロツとした食感と独特の風味が味わえるのが特徴で、生産者はとうとう私の家一軒のみとなってしまいました。私の曾祖父が守ってきた種を母、兄と受け継ぎこの種を絶やさないといくさんの人の協力を受けて栽培を続けています。

自然の恩恵に感謝しながら、将来は兄と二人三脚でこの地区の宝を守り、次世代に残していきたいです。





第30回通常総代会

J A 庄内たがわは6月20日、三川町のな花ホールで第30回通常総代会を開催しました。総代407名（実出席268名、書面出席136名、代理出席3名）が出席し、議長に北部支所桑田地区総代の小野一晴さんが選出され、上程した6議案が原案通り承認されました。

令和6年度は、7月25日に発生した記録的な豪雨により災害級の農作物被害が発生しました。今後も異常気象の常態化が懸念されることから、対策と支援の両輪で、国・行政・関係機関と連携して協調支援に取り組んでまいります。また、中長期的な本支所施設の再編として、令和7年2月北部支所、4月南部支所の立ち上げを行いました。

令和7年度は、J A 全国大会の目標実現、長期基本構想の目標実現に向け、第10次中期経営計画並びに地域振興計画を策定し、第9次中期経営計画の検証と評価を踏まえ、一体的な取り組みを行ってまいります。

今後ともJ A の理念である「相互扶助」「自主・自立」「共存共栄」のもと、持続的な農業・地域共生の未来づくりに向け「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現のため、組合員をはじめ地域の皆様のご協力を頂き、役職員一丸となって各事業目標達成に向けて取り組んでまいります。



提案する海藤喜久男組合長

議長の小野一晴さん

祝辞を述べる富樫透庄内町長

令和6年度表彰者の皆さん

名となっておりますが、当農協とは経営体名が違いますが、お話できる範囲が限定されます。ご理解をお願いいたします。当農協とは、信用部門、原料供給部門、経済部門が関わっております。詳細につきましては総代会資料に掲載されておりますのでご確認ください。備引農工連の今後の方針については、これから開催される農工連の総会にて決定されるものと認識しております。そこで示される令和6年度の決算や令和7年度の計画内容を踏まえて、当農協として対応してまいります。

農林中金による1兆8千億円に上る巨額な赤字決算の報道につきまして、昨年の総代会にて、農林中金により赤字決算額を計画的、戦略的に計上していく旨の説明を行っております。赤字の要因は外国債券の運用に失敗し含み損を抱えた債券売却したためです。現状の負債状況では格付機関から格付を落とされることになり、有価証券等はその国の通貨で取引されるため為替の変動リスクが伴います。それらを回避するために評価損を解消していくための増資要請への協力であり、ご理解をお願いいたします。農林中金の来季決算見込みにつきましては、資本増強を行うことで黒字化することの報告を受けております。また、農林中金の自己資本比率は22・28％とされており、日本国内のメガバンクにおいても総自己資本比率は10％前後と聞いておりますので、大変安定した財務状況を保っているという判断がおります。しかしながら、大変大きな赤字であり組合員の皆様に対して、多大なご心配をおかけしております。このように事態を招いたことから、今年4月に農林中金の理事長以下役員が入れ替わりをし、新体制にて黒字化に向けての取り組みがなされることと見られます。今後、農林中金の総代会が開催され、その場において当農協の総代会の皆様から配当が再開できるような意見があったことを伝え、復配にむけ最大限に努力をするよう要請してまいります。

米不足と米価高騰による大混乱を招いた要因につきましては、米の国内在庫の把握方法と令和6年度米の作況指数判定方法の問題があったためと考えております。その現状を政府が認めずに流通や取扱業者の責任としたことが混乱拡大の原因の一つと考えております。備蓄米の放出については基本的な状況であり、米の消費が減少している状況に備蓄米を放出する必要があるため一定量の備蓄米放出については理解をしております。しかしながら、備蓄米に輸入米を充てることや民間輸入米の取扱量の増加は、我が国の米生産基盤に悪影響が生じる恐れがあるため断固反対をしております。農産物価格は市場原理で決定することが多く米価についても低い状況があります。その中で生産者が大変厳しい経営状況にあっても政治は無関係でありましたが、今回の米価高騰の中で政治主導により米価を低下させている状況には違和感を持っております。今回の報道において、前半は消費者側に立った情報で主立っており、後半は生産者側になったと生産者側の事情も報道されるようになり、国民の方々の米や食、農業に対する理解が進んだ点に関しては良い部分もあったと感じております。米価高騰による混乱が発生したことは、これまでの農政の在り方が不適切であったことと認識しております。米価が上昇したことと生産費に相応した価格になったと感じております。この現状をしっかりと安定させていくことが大事であると考え、需給バランスを適正に維持するために、国が責任をもって関与していくことが必要です。国の安全保障である食料は、戦略的な長期計画の中で時代や政府が変動しても不変である必要があり、無為な視点の中で政策が語られなければならないと思います。そのために、J A グループ全体で農政運動をさらに強力に推進することが必要です。頻りに農業に係る報道がなされる現状を好機と捉え、農協の使命である農業振興を力強く進めるため、役員体制の見直しや、組合員とのつながり強化に向けての行動を実施してまいります。

令和5年度米の最終精算につきましては8月お盆前後に実施予定ですが、令和6年度米の追加払い時期については、現在も検討中であり、令和6年度米の販売契約はすべて完了しております。追加払いの状況は、令和6年度米の販売契約の7割以上が農協直接販売のため、自己資金による精算対応となること、米価上昇の中で追加支払の金額も多く、米価確保に努めていく状況にあります。備蓄米放出により業者の米在庫の動きが鈍化しているため、米販売の動きが再開し業者から販売代金を回収する目途が立つことで、米価確保となります。なるべく早期に対応したいと思っておりますが、現実的な実施時期については明言できない状況であります。体制が整った後、皆様へお支払いさせていただきますのでよろしくお願い致します。



質

他農協において令和6年度米の追加払いの金額が示されているが、当農協では足並みを揃えて提示できないのか。諸事情があることも考慮できるが、生産者の目に見える追加払いの実施について考えを伺いたい。



今朝のテレビ番組にて、山形県産はえぬきの販売価格が3割減と報道された。これは、米の価格が下落する他農協に比べて追加払いの金額が低くなる恐れはないのか。財源があるのであれば早期に支払いを願いたい。

令和6年度米の販売進捗状況は、本来であれば60％程度となる予定でしたが、備蓄米放出以降、米の販売が停滞している状況から進捗率が51％となっております。ただし、残りの49％の米については販売契約が締結されている状況から、皆様に最終的に支払うことができる金額として、はえぬきで24千円/俵を見込んでおります。倉庫移し等も検討し令和7年度米の集荷には、皆様に迷惑をお掛けしないように対応させていただきます。令和6年度米の7割がコンビニのペンダーさんや、パックライスの原料として、実需向けに販売されており、その販売先については計画的に販売できておりますが、備蓄米流通の影響で少し米販売状況が鈍っている状況をご理解いただきたいと思います。また、令和7年度米についても、なるべく早期に皆様の手取額が増加するような交渉を進めてまいります。昨年のように一般市中との大きな販売価格の乖離が無いようにJ A 全農山形とともに連携してまいりますので重ねてご理解をお願いいたします。

質

今朝のテレビ番組にて、山形県産はえぬきの販売価格が3割減と報道された。これは、米の価格が下落する他農協に比べて追加払いの金額が低くなる恐れはないのか。財源があるのであれば早期に支払いを願いたい。

質



備引農工連は連合会であり、当農協を含む3つの農協が出資及び役員を選出し運営しております。当農協役員が備引農工連の理事2名、監事1名、米不足による米価高騰が連日報道されているが、その要因についてどうのように考えているのか伺いたい。私としては政府責任が大きいと思うが、この件に対する組合長の見解をお聞かせ願いたい。

小泉農林水産大臣が米価値下げ発言を繰り返しており、明らかに参議院選挙目当てと感ぜられる。さらに、輸入米の活用も発言していることから、今後の米価対策及び農家支援のあり方と強化について伺いたい。

質

備引農工連が倒産するという情報を聞いた。これまで、きゅうりや温海かぶ、味噌等の販売で実績を上げてきたと思うが、倒産に至るまでの経過と当農協役員への責任について伺う。また、当農協や生産者に与える影響についてどのようになっているのか伺う。

JA NEWS

青年部・青田巡回で生育状況と今後の管理確認

青年部は6月11日、三川町と鶴岡市藤島地域、羽黒地域の3カ所で青田巡回を行った。同部員約10人が参加し、2025年産の生育状況と今後の栽培管理について学んだ。この日は、育苗巡回に引き続き、稲作技術を指導している「稲株塾（とうしゅじゅく）」の佐藤晃さんを講師に迎え、田植え後の苗の状況を確認しながら今後の管理について助言を受けた。佐藤さんは「25年産の生育は平年よりやや遅めに推移しているものの、葉色が良く、分けつも十分に確保できており順調に進んでいる。今後は水管理を徹底し初期生育を確保してほしい」とアドバイスした。



長ネギ・品質向上目指し栽培講習会・総括会議

長ネギ部会は6月24日、JAで長ネギの栽培講習会並びに2024年度産軟白ネギ販売総括会議を開いた。部会員や関係者ら約30人が参加し、栽培管理のポイントを確認した後、生育・販売状況を振り返った。講習会では、肥料の入れすぎに注意し、湿害対策として圃場に明渠を整備し排水対策を行う他、病害虫対策として適期防除が呼びかけられた。24年度産軟白ねぎは、取扱数量は23年度産から1.3倍増加し、37.3トンであった。また販売単価は23年度産を箱単価で358円上回り、2026円となった。同部会では、引き続き栽培管理を徹底し、品質の向上・安定化を目指す。



女性部活動・日常備蓄などで災害へ備える

女性部温海支部は6月6日、JAで赤十字防災セミナーを開いた。部員約30人が参加し、災害時にいのちを守るためのポイントを学んだ。この日は、日本赤十字社山形県本部の川合広泰さんが講師となり、災害への備えについて説明。災害発生時身の安全を確保し、日常備蓄などの自助、地域を知ることや隣近所との関係を深めて助け合う共助が重要だという。また、座学後は救援物資や簡易テント、簡易トイレなどの紹介の他、耐熱性ポリエチレン袋を用いた非常食作りを体験した。ごはん、カレー風味の肉じゃが、野菜スープを調理した。試食した部員からは「火がしっかり通っていておいしい」と好評だった。



枝豆・適期培土で収量確保

枝豆部会は6月18日、鶴岡市と庄内町の圃場を巡回し、収量確保に向けて生育状況や今後の栽培管理を確認した。部会員約10人が参加し、圃場9カ所を巡回。同行した県庄内農業技術普及課の担当者は「適期に培土することで不定根が発生し、増収や湿害低減など様々な効果を得ることが出来る。また、高温多湿による病害虫の発生も懸念されるため、早め早めの防除が重要」と呼び掛けた。2025年産は、4月からの低日照でやや生育は遅れ気味だが順調に推移している。今後は、早期の培土や防除を実施する他、適期の追肥で食味と着莢率向上に努めていく。



質 我が家では軟白ネギを栽培している。以前は売上高の25%程度が市場手数料や運搬費等の諸経費で、販売価格の低迷もあり、生産しても損しているように感じていた。しかし、2年前から流通経費の見直し等があったと思われるが、現在は諸経費の額が減少し20%程度と減っている。販売価格も上昇し手取りが増え喜んでいる。軟白ネギ栽培を今後も継続しようと思ったし、他の作物でも同様に農家手取りが増えるように継続した対策を検討してもらいたい。



答 経費については令和6年度に販売手数料を3%から5%に2%上げさせていた。2024年度の運送問題があったことから、一元集荷体制を構築し青果物をもつ一つの場所にとりまとめ、流通を見直した経過もございませう。これにより流通経費が削減になり、前日集荷による販売ロットの確定により、市場との連携強化から有利販売を展開できるというメリットを発揮できております。販売単価の向上や経費削減が手取りに影響したと考えております。

質 北支所の職員の方の明るく元気な挨拶、声掛けが素晴らしい。また、とても良い支所を作ったのだと思う。自動ドアの構造上、強風時書類が飛ばされてしまう方がいるようだが何とか改善できないものか。

答 お褒めの言葉ありがとうございます。北支所はもちろんです。すべての職員が組合員のために頑張っている。職員にはこういった励みとなるお言葉をいただければと思います。自動ドアの件は、現場を確認し対応してまいりたいと思います。

質 大規模農家が増えている中ではありますが、提案の通りの内容でご理解をお願いします。

質 先程、理事の人数に関して意見が出たようだが、理事・総代の人数を検討し農協運営に反映させた方がよいのではないかと。



答 あくまで計画となっており、提案した報酬金額をそのまま頭数で割り支給するものではありません。また、理事の減少は一身上の都合による自己都合と聞いており、ご理解願います。

質 現在、当農協は施設統合により縮小しつつ、まとめるという状況にあると思うが、理事25人体制を縮小する方向性はあるのか。

答 社会環境がこのような状況の中で人口も減少しており、組合員数も減少していく状況は十分理解をしております。農協内部で次年度の役員改選に向け委員会を設置し、役員定数について検討しております。また、課題として女性の考え方を農協に取り入れるという意味の中で、女性役員の登用についても求めていると考えております。

質 以前、総代研修会等で提案させていただいた共同乾燥調製施設を、現在の利用組合方式からJA本体での運営へ変更したらどうかという内容が理事会で検討していただけたか教えていただきたい。

答 利用組合の役員で研修会や会議を重ね、施設の老朽化等については対応が進んでいるものの、運営方法については話し合いが至っていない状況です。JA鶴岡は利用組合を一本化し、新たな運営方法をとる予定と聞いており、総代の考えも踏まえ、庄内たがわ農協の12施設の状態を整理し、話し合いを重ね、その中で一つの考え方として検討し取り纏めたうえで、行方として検討し取り纏めた段階ではないと認識しています。米穀部で精査し、皆さんにご納得いただける状況になりましたら、理事会附議という形となりますので理事会で検討する段階ではないことをご理解願います。

バスガイド同行

月岡温泉 白玉の湯 ホテル華鳳と 信濃川ウォーターシャトル



名旅館ならではのおもてなしと
美肌の湯をお楽しみください



出発日 10/19日~20日 旅行代金/大人お1人様 5-6名様1室ご利用 **49,800円**

- 1 JA庄内たがわ(羽黒・藤島・あつみ)予定(6:30~7:30発)—朱鷺メッセ/Befcoばかうけ展望室(見学)—朱鷺メッセ港〜(信濃川ウォーターシャトル)〜ふるさと村港…新潟ふるさと村(昼食・買物)—蔵春閣—月岡温泉[泊] ※ご宴会(120分)では、飲み放題・カラオケをお楽しみ下さい。

2 宿—寺泊 魚のアメ横(昼食・お買物)—台所用品のアウトレット—ストックバスターズ(買物)—JA庄内たがわ(あつみ・藤島・羽黒)予定(17:20~18:30着)
- 宿泊 月岡温泉 白玉の湯 華鳳(和室利用)

■募集人数 45名

■最少催行人数 35名

■お申し込み期限 一次締切 8/29(金) 最終締切 9/19(金)

※満席になり次第、受付終了となります。

※添乗員が同行いたします。

※助成内容につきましては、各支所信用課までお問い合わせください。

庄交トラベルご旅行条件(要約)必ずお読みください

●表示金額はすべて税込です。

●旅行開始の中止/最少催行人数に満たない場合は、旅行開始14日前までに旅行中止の旨を通知し、お預かりしている旅行代金の全額をお返しいたします。

●取消料/お客様の都合で旅行が取消される場合は表示の取消料を申し受けます。

●詳しい旅行条件を説明した書面をお渡ししますので事前にご確認ください。

●利用バス会社(公益社団法人日本バス協会加盟) 庄内交通/松山観光バス/いでは観光バス/庄内みどり観光バス/最上川交通

<免責事項>

●お客様の安全に配慮し、万全の配慮をいたしておりますが、旅行中における天災、不慮の災害、政府公共団体の指令、ストライキ、戦争、暴動、暴乱、流行病、騒動、開港規制など不可抗力の事由による損害には責任を負いません。

●当要項に記載なき事項につきましては、当社の旅行業約款によります。

旅行企画・実施

株式会社 庄交コーポレーション

観光庁登録旅行業 第1677号 日本旅行業協会(JATA)会員

旅行業取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引の責任者です。この旅行の契約に関し、担当者からの説明に不明な点がございましたら、遠慮なく旅行業取扱管理者にご質問下さい。

JA事業のお問い合わせは

鶴岡営業所 ☎0235-23-1100

〒997-0031 鶴岡市鶴町2-40 総合旅行業取扱管理者 本間 通希

JA 庄内たがわ 信用部

貯金資金課 ☎0235-64-4927

各支所信用課 ☎貯金窓口まで

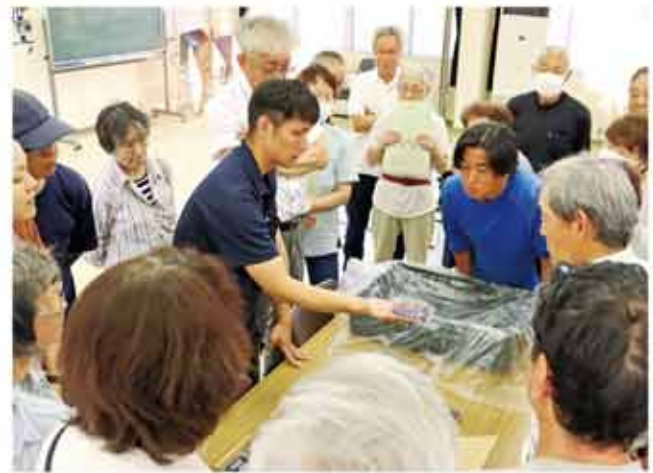
梨・和梨高品質生産に向け栽培管理学ぶ

櫛引支所なし部会は6月13日、櫛引地域で和梨の栽培管理講習会を開いた。参加した部会員約10人が、新梢管理や摘果作業のポイントについて学んだ。2025年産「幸水」は、平年通り4月26日に満開を迎え、収穫始期は8月24日を見込んでいる。この日は、県庄内農業技術普及課の担当者が栽培管理のポイントを説明。6月下旬まで枝抜きや新梢管理等を行うように呼び掛けた。また、黒星病の発生拡大を防ぐため、発病部位を適切に処分し、防除間隔の目安を10日以内とするようにアドバイスした。同部会では引き続き、適期の病害虫防除を実施し、高品質生産を目指していく。



ブルーベリー・定期防除で高品質を

ブルーベリー部会は6月19日、羽黒支所分析センターで目揃え会を開いた。部会員約30人が参加し、出荷規格や出荷時の留意点を確認した。この日は、JA園芸特産指導員が収穫時のポイントを説明。収穫は適期を逃さず早めに行い、定期防除の実施をするよう呼び掛けた。また、高温時の夜間は風通しの良い状態での管理を確認した他、害虫防除、軟化防止対策の資料を紹介した。2025年産は、着色など良好に推移している。同部会では今後、病害虫対策として計画的な防除作業で高品質維持に努め、取引先である地元や関東市場へ7月下旬まで約20㌧を目標に出荷していく。



菊・高品質出荷を目指し調整のポイント確認

花き部会菊・スプレー菊専門部会は6月4日、庄内町のJA花き集出荷施設でスプレー菊を含む菊類の目揃え会を開いた。部員約10人が参加し、出荷規格や出荷調整時のポイントを確認した。2025年産の生育は、病害虫被害は見られず、順調に推移している。この日は、同専門部の佐藤専門部長とJA園芸特産指導員が出荷時の留意点を説明。出荷調整作業では、下葉の処理や水揚げ後の濡れた葉や切り口は十分にふき取るなどポイントの確認の他、出荷規格を確認した。今後は病害虫防除を徹底し、高品質・安定生産に努めていく。25年産は、出荷量55万本を目標に東北・関東市場へ出荷していく。



ミニトマト・適期収穫で高品質出荷

ミニトマト部会は6月26日、羽黒支所集出荷施設で目揃え会を開いた。部会員約20人が参加し、出荷規格や収穫時の注意点を確認した。この日は、JA園芸特産指導員がサンプルを用いて出荷時の留意点について説明。別規格の混入、収穫遅れによる軟果やツユ付き、潰れの他、高単価維持のため計画的な出荷で日々の出荷量を安定させるよう呼び掛けた。同部会では、完熟前の収穫や高温を避けた朝夕の収穫、結露による品質低下に注意し、高品質なミニトマトを消費者へ届けていく。2025年産は、出荷数量40㌧を計画しており、主に地元市場や関東の生協へ11月中旬まで出荷する予定だ。



令和8年度職員募集

令和8年度採用の職員を以下の通り募集いたします。

1. 高等学校卒（新規卒業者）

- ①募集職種 一般職
②採用予定人員 5名
③応募資格 ・令和8年3月高等学校新規卒業者
・自宅より通勤可能である方

2. 専門学校卒（新卒、既卒者）・高等学校卒（既卒者）

- ①募集職種 一般職
②採用予定人員 若干名
③応募資格 ・専門学校（農林大学校含まない）卒業（令和8年3月卒業予定者含む）
・高等学校既卒業者で平成3年4月2日以降生まれた方
・自宅より通勤可能である方

3. 試験の内容

(1) 第1次試験

第1次試験は次の科目について実施いたします。

●総合適性検査（能力検査・性格検査） ●小論文

※応募者多数の場合は、1次試験前に書類選考を実施いたします。

(2) 面接試験

第1次試験の結果を踏まえ、後日面接試験を実施いたします。また、試験日等は本人に直接連絡いたします。

4. 第1次試験日時

令和7年9月16日（火） 午前8時45分受付

5. 採用試験会場

- ①第1次試験 庄内たがわ農業協同組合 本所
②第2次試験 庄内たがわ農業協同組合 本所

6. 応募手続き

(1) 提出書類

高等学校卒（新規卒業者）

- ①履歴書（全国高等学校統一用紙）
②調査書（全国高等学校統一用紙）
③写真（最近6カ月以内に写した上半身パスポートサイズ）

1葉（履歴書添付の他にもう一枚提出ください。）

④各種免許又は資格を有する者はその証明書の写し

専門学校卒（新卒、既卒者）・高等学校卒（既卒者）

①職員採用試験願書（本所、又は支所に備えております。）

②自筆の履歴書（写真を貼付して下さい）

③学業成績証明書

④卒業または卒業見込証明書（成績証明書と同一証明の場合は省略可）

⑤写真（最近6カ月以内に写した上半身パスポートサイズ）

1枚（履歴書添付の他にもう一枚提出ください。）

⑥各種免許、または各種資格を有する方はその証明書の写し

(2) 応募締切日 令和7年9月5日（金）【必着】

(3) 提出先 〒999-7611

山形県鶴岡市上藤島字備中下3-1

庄内たがわ農業協同組合 経営企画部人事教育課

☎0235 (64) 4922

※郵便で応募書類を提出するときは、封筒の表に

「職員採用応募書類在中」と朱記して下さい。

8. 試験実施通知

(1) 応募者本人に直接通知いたします。

(2) 募集締切日後、試験実施通知を記載された住所へ送付いたしますが、9月12日（金）まで届かない場合は、経営企画部人事教育課まで連絡して下さい。

9. 待遇

(1) 給与 当JAの給与規定の定めるところによります。

(2) 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険等加入いたします。

10. その他

(1) 採用決定通知、その他決定後の連絡は直接本人に行います。

(2) 提出頂きました書類については、選考の連絡と採用業務に関してのみ利用いたします。なお、提出書類については返却いたしませんのでご了承下さい。

(3) その他不明な点については、経営企画部人事教育課へ直接お問い合わせ下さい。

※当JAのホームページにも掲載しております。

『家の光』
『地上』
『ちゃぐりん』
『やさしい畑』
定価改定のお知らせ

1号あたり価格(税込み定価)		現行	改定後	年間価格(税込み定価)		現行	改定後
『家の光』	普通月号	629円	900円	『家の光』	月払い	9,411円	10,800円
	付録月号	922円			前納	8,782円	9,900円
	12月号	1,027円		『地上』	月払い	7,540円	9,000円
『地上』	普通月号	618円	前納		6,922円	8,250円	
	付録月号	680円	『ちゃぐりん』		月払い	6,156円	7,200円
『ちゃぐりん』	普通月号	492円		前納	5,664円	6,600円	
	付録月号	576円		『やさしい畑』	-	5,532円	6,600円
『やさしい畑』	各号	922円	1,100円				

『家の光』『地上』『ちゃぐりん』については令和7年9月号（8月刊）から／『やさしい畑』については令和7年秋号（9月刊）から

ディサービス
えがお・デ・あいと

活動紹介

避難訓練 実施致しました

6月13日金に鶴岡市消防署藤島分署の方々のご協力を頂き年に2回の避難訓練を行いました。火災想定避難訓練、消火訓練、AED講習を実施しました。



実際は訓練のようにはいかないものです。だからこそ日頃から防災意識を高め、いざという時に動けるようにしていく必要があります。改めて考えさせられた訓練でした。

総務部福祉介護課 TEL:0235-33-8165 FAX:0235-33-8166
E-mail:fukushi@ja-shonai.or.jp



庄内町 夏のフラワーショー開催!!

庄内町の花き生産者の皆さんが心を込めて育てた花の品評会です。トルコギキョウを中心とした季節の花が勢ぞろいします。ぜひお越しください。

＜花の展示＞

●日時／ 7月17日（木）13:00～19日（土）11:00

●場所／庄内町立図書館（会場が変わりました）

＜販売＞

展示した花をお買い得価格で販売します。購入希望の方は、事前に抽選用紙の投函をお願いします。詳しくは庄内町ホームページをご覧ください。

●抽選受付／7月17日（木）13:00～19日（土）11:00

●購入受付／7月19日（土）13:00～14:00

■問合せ／庄内町花き振興会事務局（庄内町農林課農産係）

☎0234-42-0169

JA 庄内たがわ 産直 んめ農 マルシェ 7月・8月イベントのお知らせ

7/19（土）・20（日）
メロンフェア
庄内産メロン販売
地方発送も承っております。
全国一律 900円
※沖縄、一部離島は除く。

7/26（土）・27（日）
7周年記念祭
んめ農マルシェがオープンしてから7年になります。
日頃の感謝を込めて記念祭を開催します。
詳細は別紙チラシ、SNSにて掲載いたします。

8/8（金）～14（木）
お盆フェア
切り花、お盆用飾り各種販売いたします。

JAカードで
お買い上げの方は
請求時に5%割引!
※写真・イラストはイメージです。予告なくイベント内容が変更となる場合がございます。ご了承ください。

4月から9月までの営業時間9:00～17:30（定休日：なし）
なお、営業時間は諸事情により変更になる場合があります。変更の際は、ホームページなどにてお知らせします。
〒997-0824 鶴岡市日枝字小真木原88-1 TEL0235-25-6778 FAX0235-26-7880 E-mail:sanchoku@ja-shonai.or.jp

農産物を出荷していただける産直協力会員を随時募集しています!

オンラインショップ 産直 んめ農 マルシェ 検索

広報誌『aito』 表紙内容の変更のお知らせ

8月号より、旬な人物、旬な農産物生産者、旬なイベントの参加者・受賞者などの「旬な人物にスポット」を当てた表紙内容に変わります。より身近で親しみやすく幅広い世代に読まれる魅力的な広報誌をめざしていきます。

「心の声」8月号投稿のテーマ
「夏ソングといえど?」

【応募方法】下記の①～③を郵便はがき・Eメールにご記入の上ご投稿ください。①テーマの答え（本紙やホームページ等で掲載致します）②住所・氏名・年齢・電話番号③広報誌の感想、JAへの意見・要望など
【あて先】JA庄内たがわ広報情報係 〒999-7611
鶴岡市上藤島字備中下3-1
E-mail:kouhou@ja-shonai.or.jp
【しめきり】令和7年7月31日（木）
当日消印有効
※投稿頂いた方の個人情報は、目的以外には使用いたしません。

今月のプレゼント
ソレイユ・ルパン
ベリー・A2022
1名様

議案報告
令和7年6月30日（月）
理事会だより

（報告事項）
・組合員の異動について
・第46回月山ワインまつり開催要領について
・ふれあい情報誌「aito」定期号の方向性について
・令和6年度財務モニタリングの報告について
・令和7年度連続職場離職脱退実施基準について
・「ATM定期貯金・IB定期貯金」の適用金利の
変更について
・令和7年度米出荷契約金取扱要領について
・令和7年度米出荷契約金取扱要領について
・令和7年度米支所別出荷契約状況について
・令和7年度米主食用水稲作付面積明細表について
・水稲育苗センター利用意向調査について
・令和6年度収入減少影響緩和交付金について
その他

（議案）
第1号 5月末実績検討について
令和6年度業務報告書（単体・連結）について（案）
第2号 令和7年度役員報酬の配分並びに支給時期・支給方法について（案）
第3号 令和7年度役員報酬の配分並びに支給時期・支給方法について（案）
第4号 令和7年度決算監事監査にかかる指摘事項に対する回答書について（案）
第5号 固定資産の取得について（案）
第6号 理事と組合員の利益相反取引の承認について（案）
第7号 以上7議案、慎重に審議され原案通り決定されました。

菅原 夏紀さん・穂乃ちゃん
藤島支所管内

高校の授業で医療系の仕事に興味をもち、現在看護師として日々の仕事を頑張っています。休日は、子どもと一緒に支援センターや児童館に行って遊んでいます。これから子どもと一緒に色々なところに出かけたいです。韓国旅行を計画中です。撮影場所＝花のアトリエしまとくろ

「心の声」夏の思い出

家族で夏はキャンプ！三瀬の海や大鳥川の畔など。昼は泳ぎ、夜は焚火を囲み波の音や川の流れを聴き星空を眺め・・・今は帰省の孫と老体ですが夏を冒険して居ます。

M・Hさん【庄内町】

夏の思い出として最も印象に残るのが、祖母と祖母の田舎へ旅行に行ったことです。自分にとって祖母が母親代わりでしたので、毎年お盆の祖母の墓参りの時期になると、生前の祖母に叱られたこと、楽しかった出来事を偲びます。

M・Kさん【京都府】

最近、2020年にコロナウイルス発生が多数出てプールなど行かなくなり、いい思い出がなかなか作れなくなってしまいました。Y・Tさん【埼玉県】

部活でスポーツに打ち込んだ夏の若き日（思えば今ほど猛暑ではなかったのかも）E・Sさん【鶴岡市】

磯遊びや浜で家族で遊んでましたね。当時も暑かったと思うけど暑さを感じずに遊んでたな。今は無理ですね。N・Sさん【鶴岡市】

昔の事です。三時代代に夏休みに陸上部で100mのタイムを何回も計るのです。大好きなボブスレー並木のグラウンドで100m走り、又戻り又走ります。みんなは夏休みでいいなあ！！と思いつながら、それでもタイムは変わらず不思議でした。私の青春でした。Y・Sさん【鶴岡市】

夏と言えば夏休み。宿題を残して最後に慌ててやる。今では苦い思い出です。

H・Kさん【愛知県】

毎年夏になると「だだちゃ豆」を大鍋で茹でて大皿に山盛りにして家族みんなでご飯にしました。美味しいだだちゃ豆はすぐに空になるとまた大皿に盛られただだちゃ豆を祖母が持ってきてくれました。今は子供たちも独立し、だだちゃ豆も小さい袋です。でも余るようになりました。

K・Yさん【鶴岡市】

学生だった40数年前の夏、製氷会社でアルバイトをしました。倉庫で氷作りと、できた氷を冷凍庫に運ぶ日課でした。冷凍庫は大きく、また温度は半端でなく-40℃の世界で頭から足まで完全な防寒対策が必要でした。外の暑さとは無縁の毎日です。アルバイトをした夏でした。K・Tさん【尾花沢市】



発行／庄内たがわ農業協同組合 〒999-7611 山形県鶴岡市上藤島字備中下3-1
TEL.0235-64-3000 電子メール tagawa@ja-shonai.or.jp
印刷／庄内農村工業農業協同組合連合会

Jul 2025 No.364



ホームページ



X (Twitter)



Instagram